

ジェネリック医薬品の疑問に答えます

最近、「ジェネリック」という言葉を耳にする機会が増えてきました。

「ジェネリック」についてのテレビコマーシャルも流れていますし、薬局に処方箋を提出した時に、ジェネリック医薬品の使用を希望するか尋ねられた経験をお持ちの方もいらっしゃると思います。

そこで、ジェネリック医薬品の基本的なことと、ジェネリック医薬品を選ぶ時に参考にしてほしい情報をご紹介します。

【新薬とジェネリック医薬品の違いについて】

★新薬(先発医薬品)

新規に開発され、発売された医薬品です。

新薬の開発には、9～17年の歳月と、数百億から数千億もの投資が必要といわれています。開発した製薬企業は特許を申請しており、特許期間中は独占的に販売されます。

★ジェネリック医薬品(後発医薬品)

新薬の特許が切れると、他の製薬企業も新薬と同じ成分、分量、用法・用量、効能・効果のお薬を製造・販売できるようになります。厚生労働省は品質に関する試験結果を元に、新薬と同等と認めて販売を承認します。開発にかかる期間は約3～4年で、研究開発費用は約1億円といわれています。新薬より研究開発にかかる費用が安いいため、低価格※に設定されています。

※医療用医薬品の価格は厚生労働省が決める公定価格です。同じ成分のジェネリック医薬品でも価格が異なる場合があります。

【ジェネリック医薬品の工夫】

ジェネリック医薬品は新薬と以下の点が異なる場合があります。また、ジェネリック医薬品同士も以下の点が異なる場合があります。ジェネリック医薬品を使ってみたい方は、選ぶ時の参考にしてみてください。

★ジェネリック医薬品が新薬と違ってよいところ

- 形や大きさ
- 色
- 味
- 添加剤 など

★ジェネリック医薬品を開発する製薬企業が工夫していること

- 錠剤を小さくして飲みやすくする
- 味やにおいを改良して飲みやすくする
- 間違っただけで飲まないように文字や色を工夫する
- 錠剤がのみにくい患者さんのためにゼリー状、液状にする など

鹿児島大学病院内では、医師・薬剤師・看護師・事務職員で構成する委員会においてこれらの違いを比較検討し、ジェネリック医薬品の採用品目を選択しています。ジェネリック医薬品に関する疑問やご相談があれば、医師、薬剤師にお尋ねください。

参考資料: 日本ジェネリック製薬協会ホームページ、日本ジェネリック医薬品学会ホームページ